

## 中高生におすすめ「あなたの身近に潜む能力者たち」特集

今回のおすすめ本はティーンズコーナーから様々な能力者が登場する本を 3 冊ご紹介します。

1 冊目は小野不由美/著「ゴーストハント1旧校舎怪談」です。

主人公の麻衣が通う高校の旧校舎では度々心霊現象が起きています。原因を突き止めるため学校側は心霊現象を専門とする会社に調査依頼しますが、その所長である渋谷はなんと 17 歳！ミステリアスで冷たい渋谷に対して反感を持つ麻衣ですが、ひょんなことから調査の手伝いをするはめに。次々と登場する特殊能力を持つ心霊のプロたちと共に旧校舎の心霊の謎に迫っていきます。果たして霊の正体は何なのか？ハラハラする展開にページをめくる手が止まらない！ホラーテイストが好みの方に特におすすめシリーズ作品です。また麻衣と渋谷のやり取りがコミカルでくすりと笑えるのも本作の魅力のひとつ。是非ご注目ください。

2 冊目は乙一/著「きみにしか聞こえない」です。

テレパシーや他人の傷を自分に移す能力を持つ少年少女が登場します。彼らは能力を自分のためだけには使用しません。自分と同じ境遇や痛みを持つ人などに寄り添い、孤独や痛みを和らげる手助けを行います。相手を思いやる気持ちが、マイナス思考になっていた登場人物たちに変化をもたらし、出会いや別れの中で多くの事を学んでいきます。自分と大切な人の「癒し」をテーマに書かれた哀しくも優しい作品。切なさの中にも温かさのある短編集です。自分には特別な力がないと思い込んでいるティーンには是非手に取ってもらいたい 1 冊です。

3 冊目は万城目学/著「偉大なる、しゅららぼん」です。

高校入学を機に滋賀県琵琶湖の街、石走に引っ越してきた日出涼介は本家のお屋敷に下宿することになります。日出家は代々特殊な能力を受け継ぐ一族で、涼介はその能力の修行も兼ね街にやってきました。個性的な親戚たちと親交も深め、新しい生活は順風満帆に見えましたが、入学式に突然殴りかかってきた同級生の出現によって事態は大きく変化していきます。敵対する一族との因縁、ライバルとの戦い、恋敵との彼女をかけたバトル。笑いあり、恋あり、ハイテンションで繰り広げられる特殊な能力を持つ一族同士の戦いの物語です。

ティーンズコーナーでは様々な能力者が登場する本を特集しています。担当司書の手書き POP も付けていますので、本選びの参考にぜひご覧ください。

また図書館ではおすすめ本のコーナー設置だけでなく、中高生を対象とした進路についてヒントを得るイベントも行っています。

3月26日（日）午前10時半からは香川県で活動している庵治石硝子作家の杉山理恵氏を講師に迎え「中高大学生の未来をつなぐ講演会 発見！将来の道！！ふるさと香川から発信！ときめくAji Glass」を開催します。

瀬戸内海のような透き通った蒼が特徴のさぬき庵治石硝子の魅力や地元で働くこと、モノ作りのやりがいなどについてもお話していただきます。

3月1日から受付が開始されますので、モノ作りやアートにまつわる仕事に興味のある方は是非ご参加ください。定員は30名。対象は中学生から一般までの方。料金は無料です。申し込み方法やお問い合わせは0877-45-6677 坂出市立大橋記念図書館までお気軽にご連絡ください。

図書館にはティーンズコーナーの他にも各コーナーで特集展示やイベント等も開催しています。図書館で新たな本との出会いや体験を楽しみませんか？皆様のご来館お待ちしております。